

豊かな人間性と高い専門知識の修得を。



学長 井上 博司

大阪人間科学大学院人間科学研究科は、様々な現象が目まぐるしく変化し続ける現代社会において、人間一人ひとりが、より健康で活力に満ちた良い状態（ウェルビーイング）を創出するにはどうすれば良いのか、を積極的に問いかけ、心理学及び周辺の諸科学を学際的に総合しつつ、新しい人間科学の展開を図ることを目的とし、平成18年（2006年）に開設され、学問的探究と実践的応用を重視した教育を提供しています。

具体的には、心理学専門職としての初めての国家資格である「公認心理師」を目指す「心理学専門職コース」と、専門領域をより発展させるリカレント教育や心理学の学術的探求を行う「心理学総合コース」の2コースを設置しています。

前者では、4年間の学部教育と連携し、6年間の一貫した学びにより資格の取得を目指します。カリキュラムは、理論と実践の両面をバランス良く学ぶことができるよう設計されており、学生が実社会で即戦力となることを目指しています。

後者では心理学、医療、教育など幅広い分野において心身の健康に関連する仕事に従事している社会の方々等に対し、リカレント・リスキリング教育の場を提供します。柔軟な学習環境と最新の研究を取り入れたカリキュラムを通じて、学び続ける意欲を持つ皆さんをサポートいたします。

研究科では、経験豊富な教員陣とともに、皆さんのが心理学の知識を深め、実践に役立てるための最適な環境を提供いたします。ぜひ、私たちの大学院で新しい一步を踏み出し、未来の心理学専門家としての道を拓いてください。

大学院指導教員 ■ 専門領域

研究科長
大野 太郎 教授
[公認心理師]

ストレスマネジメント教育 EAP
産業カウンセリング 非行犯罪臨床

博士(人間科学)

副学長
山岸 正和 教授
[医師]

総合内科学(総合内科専門医)
循環器内科学(循環器内科専門医)
総合医学教育

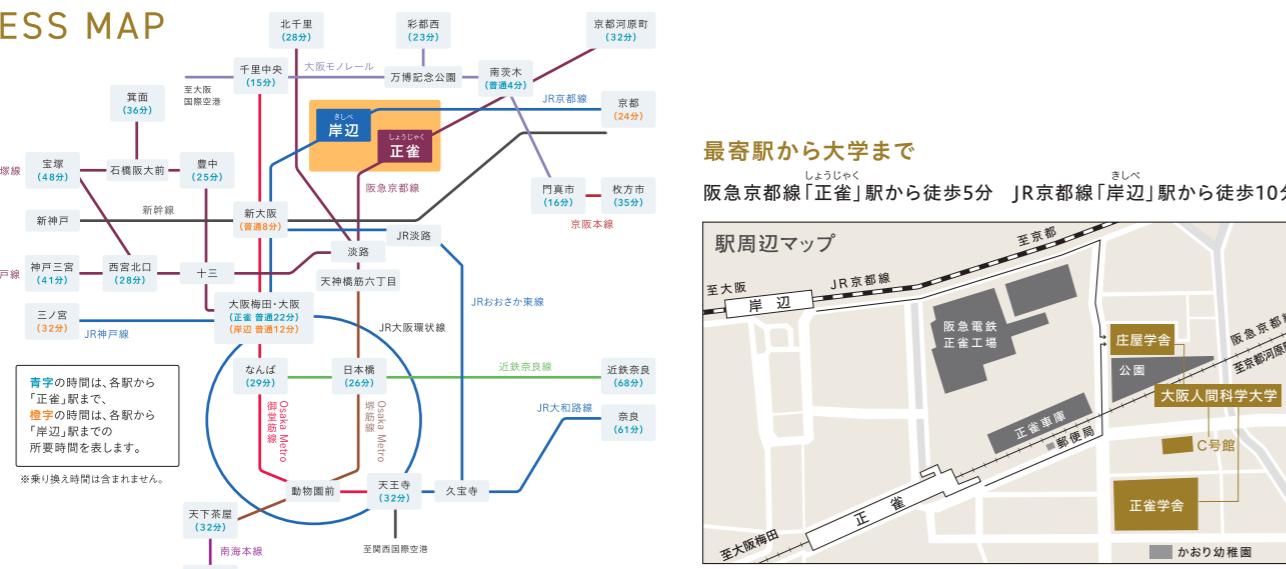
医学博士

堤 俊彦 教授
[公認心理師・臨床心理士]

児童臨床心理学
行動療法

Ed.D (教育学博士)

ACCESS MAP



大阪人間科学大学 大学院 人間科学研究科 2025



大阪人間科学大学大学院 人間科学研究科

大阪人間科学大学大学院では、人びとが心身の健康に向けた力を十分に発揮し、より良い人生を目指すことができるよう、健康に関する科学的研究とその成果を実践に活かすことができる専門家の育成を目的としています。

本大学院の特色は、心理学専門職の国家資格である公認心理師を目指す『心理学専門職コース』と、

これまで培ってきた専門領域をより発展させるためのリカレント教育や心理学の学術的探求を行う『心理学総合コース』の2つのコースにあります。

これらのコースによって、大学院生個人の成長のみならず社会全域の発展についても貢献しうる教育の充実化を図っています。



臨床現場における
高度な知識と技術を持った
公認心理師を目指す

対人援助に関する
スキルアップや心理学における
研究者を目指す

Admission policy

本研究科が求める人物像

1. 心理学に関する基礎知識と十分な基礎学力及び社会人基礎力をそなえている者。
2. 人びとの健康の回復、維持、そしてその増進に寄与する志向を持つ者。
3. 研究を実践に活用して社会に貢献する意欲を有している者。



長期履修制度について

自分のペースで仕事と学習の両立を実現！

長期履修制度とは、職業を有するなどの事情により、年間に履修できる単位数や研究・学習活動に充てられる時間が限られているため、標準修業年限(2年)では大学院の教育課程の履修が困難な学生を対象に、一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修し修了することにより、学位の取得を可能とする制度です。長期間でマイペースに学べ、無理せず仕事と大学院での学びが両立でき、じっくり時間をかけて学ぶことができます。

申請資格

- 職業を有し、就業している者(正規雇用者に限らず、主として当該収入により生計を維持している者)で、著しく学習時間の制約を受ける者
- 家事、育児、長期介護などにより、著しく学習時間の制約を受ける者

履修期間

- 3年又は4年のいずれか
(長期履修の開始時期は入学時点とし、学年の途中から開始することはできません。また、履修期間は延長できません。)

開講科目一覧

(公認心理師受験資格取得に必要な科目)

心理学専門職コース

- | | |
|------------------|--|
| 公認心理師必修科目 | ●保健医療分野に関する理論と支援の展開 ●福祉分野に関する理論と支援の展開 |
| | ●教育分野に関する理論と支援の展開 ●司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開 |
| | ●産業・労働分野に関する理論と支援の展開 ●心理的アセスメントに関する理論と実践 |
| | ●心理支援に関する理論と実践 |
| | ●家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践 |
| | ●心の健康教育に関する理論と実践 |
| 実習科目 | ●心理実践実習I ●心理実践実習II |
| 研究演習科目 | ●人間科学研究演習I ●人間科学研究演習II |



修士課程1年 島村 桃奈

心理学総合コース

- | | |
|---------------|--|
| 特論科目 | ●精神医学特論 ●社会福祉学特論 |
| 特殊講義科目 | ●人間科学特殊講義I ●人間科学特殊講義II |
| 演習科目 | ●心理学研究法演習 ●ソーシャルリサーチ演習 |
| 実習科目 | ●多変量解析法演習 ●質的研究演習 ●認知行動療法演習 ●力動的心理療法演習 |
| 研究演習科目 | ●心理カウンセリング実習I ●心理カウンセリング実習II ●心理発達アセスメント実習 |
| | ●人間科学研究演習I ●人間科学研究演習II |

一部公認心理師対応科目を受講することができます。



心理学専門職 コース

POINT

- 悩める人たちの支援を行う心理専門職である公認心理師受験資格者の養成を行うことを目的としたコースです。
- 心理カウンセリングの技法はもとより認知行動療法、応用行動分析、ストレスカウンセリング、解決志向アプローチなどセラピーに通じた心理学について幅広くそして深く学びます。
- 公認心理師受験資格に関心を持つ人をサポートする教育を行います。

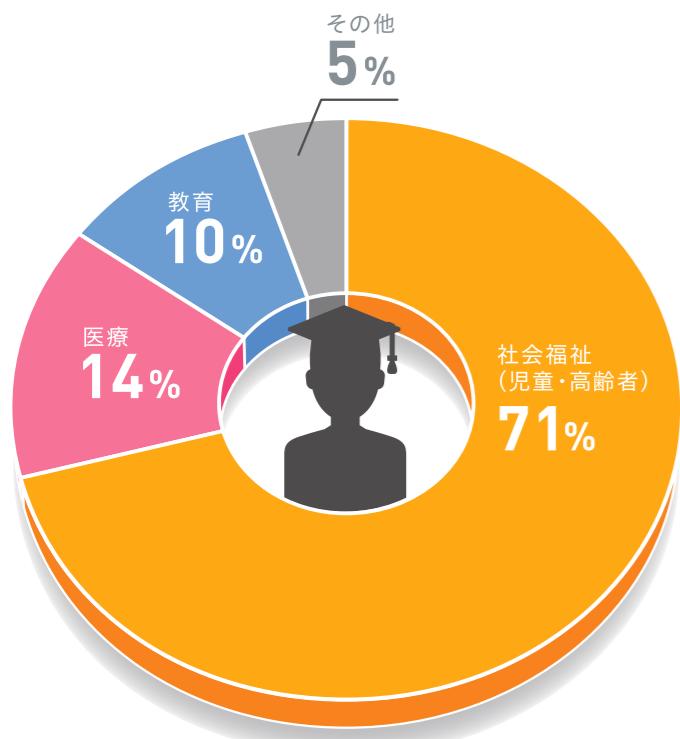
※公認心理師国家試験を受験するためには、卒業した大学において公認心理師受験資格取得に必要とされる学部科目を修めておく必要があります。必要な学部科目の履修状況については、卒業したあるいは卒業する大学に確認してください。

公認心理師が活躍する領域は 数多くあります。

- スクールカウンセラー
- 病院の心理カウンセラー
- 会社の心理相談員
- 児童相談所や福祉施設の心理職
- 家庭裁判所調査官
- 少年鑑別所や拘置所などの法務技官（心理）
- 警察の相談員 など

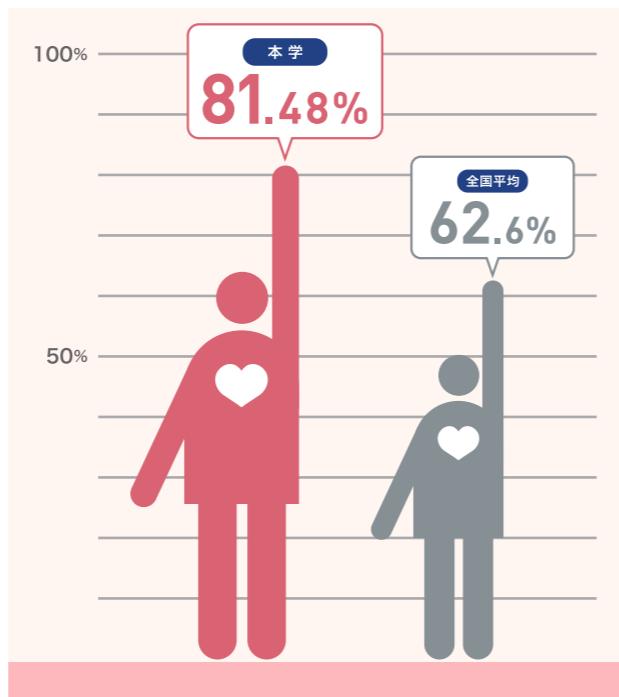


公認心理師資格取得者の業種別状況



(2016年修了生から8年間の実績)

公認心理師試験合格率



(2017年修了生からの実績)

心理学総合 コース

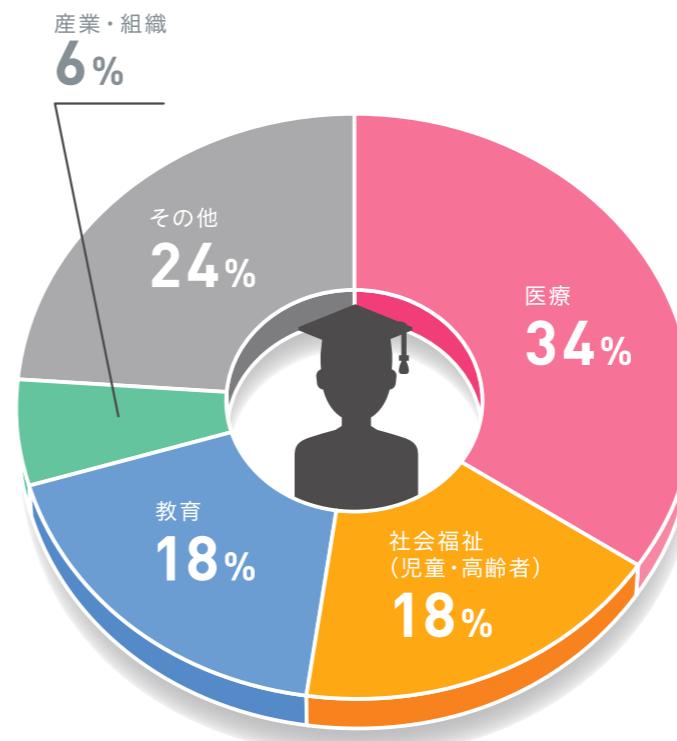
POINT

- 心理学、医療、教育などにおいて、心身の健康に関連する仕事に従事している人や、これから専門の業務に進もうとする人に対するリカレント教育の場を提供します。
- 大学で学んだ心理学や他の行動科学の研究を深めることもできます。
- 看護師、保健師、教員、その他人びとの健康に関連する現場において、対人援助の更なるスキルアップを目指す人、心理学の研究を継続したい人への教育を行います。

修了後の進路

- 医療・保健・教育・社会福祉における専門職
- 企業におけるメンタルヘルス担当者
- コミュニティにおける相談業務職など高度な対人援助職
- 健康分野における研究者

総合コース修了者の業種別状況



(2016年修了生から8年間の実績)

修士論文題目（一部）

- 重症心身障がい者に対する化粧行動による情動活性化の試み
 - 大学生の音楽への依存性について
 - 認定看護師有資格者におけるストレスとその対処
 - プラダー・ウィリー症候群児のいる家族への支援－行動問題への介入の効果－
 - ブリーフアンガーマネジメントの構築と検証
- 過去の修士論文題目はこちらをご確認ください
<https://www.ohs.ac.jp/department/graduate/>

心理学専門職コース：在学生の声

学部生の時に心理職に就くにあたって公認心理師の資格が必要だと知り、受験資格を取りたいと思いました。研究室訪問でゼミの先生とお話を機会での交流が印象に残り、進学することを決めました。

現在は心理検査やロールプレイングなどの実践的な勉強を、学部時代よりも深く学んでいます。毎週ケースカンファレンスがあり、大学院生が実習や心理・教育相談センターで経験したことを発表しています。発表後には先生や院生の方からコメントを頂けるため、自分が発表している時は今後の参考に、学友が発表した時はその人の発表を聞くことで学びが深まります。

また、学内に心理・教育相談センターが設置されているため、実際にプレイセラピーやクライエントに対してカウンセリングを行うこともでき、この経験が自分にとっての力になると感じています。その他にも、公認心理師の国家試験対策があるため、公認心理師資格取得に向けて継続的に勉強する機会が設けられています。

本学大学院の魅力は困った時に相談しやすい環境が整っているところです。実習や修士論文で困った時に、様々な先生方が親身になって相談に乗り、助言をくださいます。また、先輩方にも些細なことでも相談できます。同じ学年の学友とも実習や普段の授業の中でも積極的に意見交換するため、学びのある2年間になると感じています。

将来は、国家公務員である矯正心理専門職に就職したいと考えています。もともと犯罪心理学に興味があり、その分野で就職できるところを探していたところ矯正心理専門職という職業を見つけました。なぜ少年が非行を犯してしまうのか。再非行防止のために正しいアセスメントをしなければならないところに魅力を感じ、現在はその夢に向かって日々勉強しています。

冨美 司さん

2023年3月 大阪人間科学大学 人間科学部 健康心理学科（現 心理学部 心理学科）卒業
大阪人間科学大学大学院 人間科学研究科 人間科学専攻 心理学専門職コース2年次生



修了生の声

高校生の時に心理学は、人の心を可視化できると知り衝撃を受け、面白そうな学問だと思ったことがきっかけで興味を持ちました。オープンキャンパスでの大阪人間科学大学のゆったりとした雰囲気が気に入り、居心地のよさを感じ、入学を決めました。その後、公認心理師の受験資格を取得できるようになったことや実習で様々な施設で学べることなど理由はたくさんありますが、1番は「この研究室でもう少し学びたい」と思い、大学院に進学することを決めました。

本学大学院の1番の魅力は先生方との距離が近いことだと思います。どの先生もとても親身に接してくださいます。心理実習では慣れない環境で起こる様々な課題に悩み、葛藤することもありましたが、親身に寄り添ってください、またその寄り添い方そのものも心理職を志す私の学びに繋がりました。そのため院生同士も自然と助け合う雰囲気が作られていました。

現在は、児童発達支援・放課後等デイサービスで療育をしています。個別・集団での療育、事務作業がメインで、依頼を受ければ学校訪問や保護者面談を月に数回行っています。事務作業では児童の様子を記録し、学校や保護者に情報を共有するための書類を作成するのですが、大学院で学んだ記録の書き方が、多職種連携の現場でとても役に立っています。在学中は指導いただきながら書くことができたので、心理師としての記録作成スキルを身に付けてから就職することができます。

山下 愛利さん（公認心理師）

2019年3月 大阪人間科学大学 人間科学部 健康心理学科（現 心理学部 心理学科）卒業
2021年3月 大阪人間科学大学大学院 人間科学研究科 人間科学専攻 心理学専門職コース 修了



修了生の声

現在は、ひきこもりや依存症の方への支援を行っています。ひきこもりの方のグループワークに参加したり、初回面接の記録をとることが業務です。大学院でもひきこもりのご本人やご家族のケースの陪席に入させていただきました機会が多くありました。ひきこもりの方がコミュニケーションを通して内面的な部分に向き合っていくサポートができることが魅力的だと感じています。

ひきこもりの支援は長期化するため、大変なこともあります。グループワークに最近参加された方と、ピアサポートと言われる当事者として悩んでおられるご本人やご家族に話ができる人では、コミュニケーションの仕方が異なるため、距離感を測るのが難しそうだと感じています。

大学院での2年間では、感覚やかかわりの中で感じた直感などに目を向ける力を培うことができました。ケースカンファレンスや事例検討、実践としてセンターのケースを持つことがあります。事例検討やケースカンファレンスの中では、他の人が挙げたケースから他の人の意見も聞きながら、ケースについても紐解いていくことができます。また、自分が実践で持つケースでは、クライエントとのかかわりで感じたことが方針を考えいく中で役に立つことがあります。仕事でも、これらのこと念頭に置くことで支援計画や支援方針を立てて一助になっています。

国家試験の勉強や修士論文、就職活動で忙しく、あつという間でしたが、ただ資格が取りたいというだけではなく自分がどういう仕事に就きたいのか、ケースカンファレンスや同期の中でどのような役回りをすればよいのかなど、受け身ではなく自分で考えていく意識を持つと、2年間で得るものが多くあります。まずは資格を取つてどういう仕事に就きたいのか、どういうことに興味があるのかなど将来の見通しを持っておくと、面接でも自信を持って話せると思います。教えてもらう受け身の姿勢だけでなく、自分で学ぶ姿勢を持ってほしいと思います。

奥原 佑衣さん（公認心理師）

2021年3月 大阪人間科学大学 人間科学部 医療心理学科 臨床発達心理専攻（現 心理学部 心理学科）卒業
2023年3月 大阪人間科学大学大学院 人間科学研究科 人間科学専攻 心理学専門職コース 修了



修了生の声

大学院では、学部ではできなかった心理療法や心理検査を実施する実習があります。普段は現場でしか取り扱っていないテスト類も経験することができるので、いきなり臨床的な実践で戸惑うかもしれません、必ず先生方が支えてくださいます。そして、実習でたくさん取った『記録』が、とても重要になります。心理職は理想として逐語録まで求められると思いますが、社会に出ると仕事のためにも自分を守るためにもこの『記録』は怠ってはいけないと実感しました。そして、修士論文の執筆で様々な文献を調べると思いますが、分からなかつた時に“何”を“どのように”調べるかを知っておくのも重要だと感じています。

現在は放課後等デイサービスで児童心理スタッフという心理職として勤務しています。発達障害を持つお子様もちろんですが、他にも学校に行けなくて困っているお子様への支援にも携わっています。普段はお子様の話し相手、遊び相手になることが多いですが、時には宿題を見ることや、保護者様との面談にも同席して子育てや学習についての悩みに寄り添いながらサポートを行っています。

障害特性や不登校による困り感を抱えたお子様が周囲からのサポートを受けつつ、自分なりに頑張ろうと奮起する姿を見ると、とても応援したくなります。葛藤や挫折を経て、それでもなおやりたいことの実現を目指そうと努力し、それが一つずつ達成された時に見てくれる笑顔は、私自身勇気づけられています。できるか分からず不安を抱えていても、それを乗り越えていくことで自分の自信に繋がってくれたら嬉しいながら働いています。

今後も不登校で困っているお子様のサポートを続けていくと思います。特に中高生は次のステージに上がる時に大きな転換期を迎える。その時一緒に寄り添って、なりたい自分を目指していくようサポートできたらと思っています。私は希望に満ち溢れた人の、その願いを叶えた先まで、可能な限り見届けていきたいのだと思います。

大阪人間科学大学大学院では、必ず先生方が親切にサポートしてくださいます。あとは皆様の好奇心・探求心次第ですので、是非心理専門職を目指して頑張っていただきたいと思います。

相澤 真さん（公認心理師）

2021年3月 大阪人間科学大学 人間科学部 医療心理学科 臨床発達心理専攻（現 心理学部 心理学科）卒業
2023年3月 大阪人間科学大学大学院 人間科学研究科 人間科学専攻 心理学専門職コース 修了

